

祝 府中第五小学校創立 150 周年

学校だより特別号 第2号

令和5年6月26日

府中市立府中第五小学校 校長 森嶋 正行

藤田英孝氏と巡る歴史散歩

藤田英孝氏と巡る歴史散歩第2号です。第1号では150年前の明治6年 5 月、府中第五小学校の発祥である「育幼学舎」によって府中第五小学校の教育が始まったことを振り返りました。第2号では府中第五小学校150年を概観します。

府中第五小学校の150年

府中第五小学校の150年の歴史を振り返る手がかりとなることとして、学校の名称が 9 回、学校のあった場所が 6 回変わっていることです。

1 校名の変遷(へんせん)

① 育幼学舎(いくようがくしゃ)【明治6年(1873)5月～明治7年(1874)5月】

まず校名について記します。明治6(1873)年5月に創設された、府中第五小学校の発祥である育幼学舎は、明治7(1874)年5月、小野宮(おののみや:現住吉町)の正光院(しょうこういん)へ移転します。

② 小野学校(おのがっこう)【明治8年(1875)8月から】

明治8(1875)年 8 月、その地域の地名(小野宮:おののみや)から小野学校と改称しました。



育幼学舎が移転(後に小野学校に改称)された正光院

③ 本宿学校(ほんしゅくがっこう)【明治9年(1876)4月から】

明治9年(1876)4月、ハケ上の甲州街道に沿って集落を営む本宿村が、遠隔を理由に集落内に本宿学校を設置し、小野学校と二校並立となりました。

④ 奇秀学校(きしゅうがっこう)【明治11(1878)年9月から】

明治11(1878)年9月、小野学校と本宿学校が合併し、奇秀学校と改称します。この奇秀(きしゅう)という校名は63年間使用されました。明治22年4月、本宿村、中河原村、四谷村の三ヶ村が合併して、西府村が誕生します。

⑤ 奇秀尋常小学校(きしゅうじんじょうしょうがっこう)【明治25年(1892)4月から】

明治25(1892)年4月、奇秀尋常小学校と改称します。明治27、28年に日清(にっしん)戦争、明治37、38年に日露(にちろ)戦争が勃発(ぼっぱつ)しています。明治 45 年 4 月現府中第五小学校の地へ移転。

⑥ 奇秀尋常高等小学校(きしゅうじんじょうこうとうしょうがっこう)【昭和2(1927)年4月から】

昭和2(1927)年4月、高等科が設置され、奇秀尋常高等小学校となります。

⑦ 西府国民学校(にしふこく민がっこう)【昭和16(1941)年4月から】

昭和16(1941)年4月、戦時体制により小学校は国民学校となり、西府国民学校と改称します。

⑧ 西府小学校(にしふしょうがっこう)【昭和22(1947)年4月から】

戦後の学制改革で6・3制の開始により、昭和22(1947)年4月、西府小学校と改称します。

⑨ 府中第五小学校【昭和29(1954)年4月から】

昭和29(1954)年4月、府中町、多磨村、西府村の一町二村が合併(がっぺい)して府中市が誕生します。現在の校名である府中第五小学校となります。来年は府中市が誕生してから70周年になります。



初代校長 藤田真
興氏のお孫さん
藤田英孝氏

〔校名の変遷〕

明治 6.5 明治 8.8 明治 11.9 明治 25.4 昭和 2.4 昭和 16.4 昭和 22.4 昭和 29.4
 育幼学舎—小野学校—奇秀学校—奇秀尋常小学校—奇秀尋常高等小学校—西府国民学校—西府小学校—府中第五小学校
 明治 9.4
 —本宿学校—

2 所在地の変遷



①育幼学舎所在地の今



③本宿学校所在地の今



④奇秀学校所在地の今

①明治6年(1873)5月、屋敷分村、本宿村、中河原村、四谷村の四ヶ村連合により屋敷分(現美好町)の手習塾の石坂塾の教室を借用して育幼学舎(いくようがくしゃ)が誕生しました。場所は、スーパーいなげやの斜め前、稲垣茂夫氏宅(美好町 3-12)になります。

②明治7年(1874)5月、小野宮(現住吉町)の高速道路近くの正光院(しょうこういん)(住吉町 3-2)へ移転します。

③明治9年(1876)4月、本宿学校が鴨下(かもした)酒店西側の松本平兵衛氏宅(本宿町 2-14)に設置され、小野学校と二校並立になりました。

④明治17(1884)年、奇秀学校は(本宿町 2-6)甲州街道と旧甲州街道が交わる三差路南側の松村勘蔵氏宅へ移転します。

⑤明治25年(1892)4月、奇秀尋常小学校は三差路北側の共同製紙工場跡(本宿町 2-7)へ移転します。

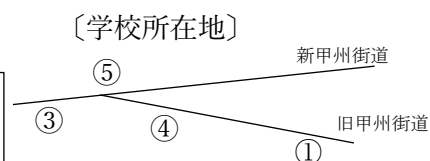
⑥明治45年(1912)4月、内藤清兵衛氏所有地の現府中第五小学校(本宿町 1-51)へ移転し、新築落成。現在に至ります。



②小野学校設置の正光院



⑤奇秀尋常小学校所在地の今



コラム～人命救助

長い歴史で特筆すべき事例として人命救助を紹介します。

◇昭和25年7月10日、西府村四谷天王地先の砂利採掘跡に落ち溺れかかった幼児を近くで釣りをしていた西府小学校4年生萩原隆くんが発見。飛び込んで救助しました。

この人命救助の善行は当時の東京警察隊長と府中警察署長から表彰されました。

◇昭和28年10月27日、上野動物園へ秋の遠足で4年生83名の帰途、上野駅のホームで児童が乗客に押されて転落。迫り来る電車、担任の梅沢(現大島)綾子先生はとっさにホームから飛び降りました。幸い児童はかすり傷程度でしたが、先生は意識不明の重傷、緊急入院となりました。その年の12月、吉田茂内閣総理大臣より、紅綬褒章(こうじゅほうしょう)を授与されました。大島先生は正に教員の鑑です。

参考文献:「府中市 教育の歩み—府中市教育史普及版—」府中市教育委員会
 「五小百年史」五小創立百周年事業協賛会
 「府中市教育史 資料編1」府中市教育委員会



府中第五小学校のシンボルのくすの木